

## 令和3年度 指定管理者総合モニタリング評価表

施設名称	大門三番町・四番町介護予防交流施設		
所在地	塩尻市大門三番町12番2号		
指定管理者名	大門三番町区及び大門四番町区		
指定期間	平成28年4月1日～令和8年3月31日（10年間のうち6年目）		
募集方法	非公募	施設担当課	健康福祉事業部 長寿課

### 1 業務実績（指定管理者）

当初計画	実 績
<b>1 介護予防への取り組み</b> (1) 元気づくり広場 11回／330人  (2) ミニデイサービス 6回／150人 (3) 福祉講演会 1回／60人 (4) ふれあい土曜サロン 8回／200人 (5) よりましよ会 3回／75人 (6) 子供たちと高齢者の交流 1回／80人 (7) 楽々体操広場 24回／360人  <b>2 閉じこもり防止の世代間交流</b> (1) 餅つき大会 1回 (2) 敬老会 1回 (3) 祭り 1回 (4) しめ縄作り 2回 (5) 自主サークル活動 ①童謡、唱歌を歌う会 2回／月 ②囲碁クラブ 2回／月 ③ヨガの会 1回／月 ④三味線クラブ 2回／月 ⑤フラワーアレンジメントの会 1回／月  <b>3 地域福祉増進に関する調整会議の開催</b> 関係団体（区、老人クラブ、公民館、育成会等）と連携や調整を行うなかで、事業を行う。 調整会議の開催等 随時	<b>1 介護予防への取り組み</b> (1) 元気づくり広場 8回／104人 （屋外に変更：グラウンド・マルチコート） 6回／72人 （居酒屋倶楽部、お茶飲み会） 2回／32人 (2) ミニデイサービス 3回／105人 (3) 福祉講演会（三番町倶楽部主催） 1回／25人 (4) ふれあい土曜サロン 5回／103人 (5) よりましよ会 2回／45人 (6) 子供たちと高齢者の交流 0回 (7) 楽々体操広場 14回／81人  <b>2 閉じこもり防止の世代間交流</b> (1) 餅つき大会 0回 (2) 敬老会 各地区 0回 (3) 祭り 0回 (4) しめ縄作り 1回／7人 (5) 自主サークル活動 ①童謡、唱歌を歌う会 0回 ②囲碁クラブ 8回 ③ヨガの会 18回 ④三味線クラブ 17回 ⑤フラワーアレンジメントの会 8回  <b>3 地域福祉増進に関する調整会議の開催</b> 関係団体（区、老人クラブ、公民館、育成会等）と連携や調整を行うなかで、事業を行った。 調整会議の開催等 11回

## 2 施設の利用状況(指定管理者)

利用区分等	利用目標	今年度実績 (ア)	前年度実績 (イ)	対前年 (ア) / (イ)
開館日数	-	136日	165日	82.4%
施設利用者数(65歳以上)	-	1,115人	1,407人	79.2%
施設利用者数(64歳以下)	-	447人	558人	80.1%
介護予防事業等実施回数	-	84回	105回	80.0%
介護予防事業等参加者数(65歳以上)	-	586人	660人	88.8%
介護予防事業等参加者数(64歳以下)	-	84人	151人	55.6%

## 3 利用目標の達成状況に対する評価・分析(指定管理者、施設担当課)

指定管理者の 評価・分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の変動に合わせた行政からの指導を順守し、レベル5で交流センターでの新たな屋内行事を制限し、屋外行事等に切り替え活動の機会を作るよう取り組んだが、レベルは下がることなく年度末を迎えることとなった。</li> <li>・地域の長として交流センター利用をさらに促進し、行事を計画どおり推進したい思いは強くあったが、感染する不安を完全に払拭する新たな対策も無い中では規制を継続せざるを得ず、施設利用は前年をさらに下回った。</li> </ul>
施設担当の 評価・分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和4年2月1日から令和4年3月11日まで休館としたため、利用者が前年度よりも減少した。</li> <li>・調整会議を定期的実施しており、コロナ禍での施設の運営と住民の安心安全について慎重に検討を重ねていただいた。</li> </ul>

#### 4 収支状況(指定管理者)

(単位：円)

	項目	当初計画	実績 (ア)	前年度実績 (イ)	対前年 (ア) / (イ)
収 入	・繰越金	952,979	952,979	796,008	119.7%
	・指定管理料	0	0	0	-
	・三番町四番町負担金	549,900	553,800	549,900	100.7%
	・使用料(冷暖房)	80,000	42,500	58,000	73.3%
	・雑収入	8	8	8	100.0%
	収入計(A)	1,582,887	1,549,287	1,403,916	110.4%
支 出	・水道光熱費	250,000	211,064	201,789	104.6%
	・営繕費	50,000	50,350	51,260	98.2%
	・消耗品費	20,000	14,442	11,066	130.5%
	・備品費	10,000	0	0	-
	・事務費	30,000	39,156	26,822	146.0%
	・会議費	20,000	2,225	0	皆増
	・管理手当	60,000	60,000	60,000	100.0%
	・修繕費積立金	100,000	100,000	100,000	100.0%
	・予備費	1,042,887	0	0	-
	・次年度繰越金	0	1,072,050	952,979	112.5%
	支出計(B)	1,582,887	1,549,287	1,403,916	110.4%
	収支(A) - (B)	0	0	0	-

#### 5 財務状況を示す指標(指定管理者) (省略)

#### 6 職員の配置状況(指定管理者)

当初配置計画		配置実績	
管理運営責任者	1 (非常勤)	管理運営責任者	1 (非常勤)
副管理運営責任者	1 (非常勤)	副管理運営責任者	1 (非常勤)
施設管理者	1 (非常勤)	施設管理者(委託)	1 (非常勤)

#### 7 自主事業の状況(指定管理者)

当初計画	実績
大門神社例大祭	中止

8 評価（指定管理者、施設担当課）

評価点は5段階としており、仕様書・事業計画等に対する達成度から判断します。

例えば、計画どおりの達成度であれば評価点は「3」となります。

評価項目の性質で、付けることができる評価点が制限されている項目があります。

評価点	達成度
5	: 120 % 以上
4	: 101 ~ 119 %
3	: 81 ~ 100 %
2	: 61 ~ 80 %
1	: 0 ~ 60 %

(1) 実施体制に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
施設運営状況	1	協定書等に従い、開館日や開館時間等を遵守しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	2	施設の目的が十分機能しているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	3	施設の利用者数や稼働率は適正か	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
危機管理体制	4	避難経路が適切に確保されている等、利用者の安全が確保されているか	1	2	3	4	⑤	1	2	3	④	5
	5	危機管理に関するマニュアル等が整備され定期的に訓練等を行っているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	6	事故・災害等の緊急時の連絡体制は確立されているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
職員体制	7	仕様書等に従った人員(人数、有資格者)を配置しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	8	スタッフのシフトは適正であるか(労働基準法を遵守しているか)	1	2	3	④	5	1	2	③	4	5
	9	事業計画書に則した教育・研修を実施したか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
記録・情報管理体制	10	業務日誌等を適切に作成・保管しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	11	協定書等で定められた事業計画書・報告書等を提出しているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
	12	情報公開に関する規定が整備されているか	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	13	協定書等に従い、情報を適切に管理、公表しているか	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	14	個人情報保護に関する規定が整備されているか	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	15	個人情報等の管理は適切か	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	16	情報漏えいを防止する仕組みや対応策が講じられているか	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(1) 評価点合計 (11項目)			38					36				

(2) 収支等の評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
経理状況	17	指定管理に関する経費と団体の経費を区別して、適正に管理しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	18	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理処理を行っているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	19	収支計画書に則し、適正に予算を執行しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	20	利用料収入などの現金管理等が適切に実施されているか	1	-	③	-	-	1	-	③	-	-
収支状況	21	事業収支は妥当か	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	22	財務状況を示す指標の異常値、大幅な変動がないか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	23	計画どおりに経費節減の取り組みを行い、その効果があったか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	24	計画以外に経費節減に向けた取り組みを行い、その効果があったか	1	2	3	④	5	1	2	③	4	5
(2) 評価点合計 (8項目)			28					27				

(3) サービス等の内容や水準に関する評価

評価項目	No.	評価基準	評価点									
			指定管理者					施設担当課				
利用者へのサービスの状況	25	施設の予約や利用等が、公平かつ適切に実施されているか	1	2	3	4	⑤	1	2	3	④	5
	26	言葉づかい、態度、服装等の接遇は適切か	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	27	利用者アンケートを実施し、その結果は妥当か	1	②	3	-	-	1	2	③	-	-
	28	利用者からの意見や要望等について、可能なものは反映させているか	1	2	3	4	⑤	1	2	3	④	5
	29	苦情や要望等に対して迅速かつ適切に対応しているか	1	2	3	4	⑤	1	2	3	④	5
	30	施設のホームページは効果的に運用されているか	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	31	利用方法をわかりやすく説明できる仕組みができていますか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
事業の実施状況	32	事業計画書に則し、指定管理事業を実施しているか	1	2	3	④	5	1	2	③	4	5
	33	施設の目的に沿って、自主事業を実施しているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	34	各事業への参加や施設利用促進に向けた取り組みを積極的に行っているか	1	2	③	4	5	1	2	③	4	5
維持管理状況	35	仕様書等に従い、清掃、警備、衛生の点検・管理を適切に行っているか	1	2	3	④	5	1	2	3	④	5
	36	施設や設備の点検・管理を適切に行い、履歴を適切に整理・保管しているか	1	2	3	④	5	1	2	③	4	5
	37	必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	38	市と指定管理者の備品が明確に区別されており、台帳により適切に管理されているか	1	2	③	-	-	1	2	③	-	-
	39	外部委託内容は事前に市の承認を受けており、委託先に協定書等を遵守させているか	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	40	省エネルギー、省資源等環境への配慮がされているか	1	2	3	④	5	1	2	③	4	5
(3) 評価点合計 (14項目)			54					49				

※No.39は外部委託がある場合のみ評価する。

(評価点の総計)

評価点総計 (満点141点)	指定管理者	120点	85.1%	施設担当課	112点	79.4%
-------------------	-------	------	-------	-------	------	-------

## 8 (総括) 評価に対する考え方 (指定管理者、施設担当課)

評価項目	評価項目No.とその評価点を付けた理由			
	No.	指定管理者	No.	施設担当課
(1) 実施体制	2	コロナ禍でできる施設利用の取組みに重点を置き、屋外行事会場まではセンター発着とし、屋外行事後にセンターで短時間の反省会を行った。	2	屋内にて集まらない工夫(屋外行事への転向、集会を屋外で実施など)をすすめる中で安全に配慮した取り組みがなされた。
	4	施設内外の定期的清掃を全世帯が順番制で分担し、整理整頓を徹底している。	4 5	防災訓練を実施し、避難所開設訓練、消火訓練などを実施したほか、防災倉庫も設置された。
	5	防災倉庫が設置できたことで防災備品の充実を進めており、定期的な防災訓練も行っている。		
(2) 収支等の評価	21	今後の施設整備に備えた積み立て方針に基づき、本年度も方針通り積み立てることができた。	21 22	今後の施設整備に備えた積み立てが計画的にできている。
	23	コロナ対策もあり、会議打合せ等の時間を制限しながら工夫し、会議等の経費節減ができた。	24	網戸修繕など軽微な修繕でも2社の見積りにより判断し、経費節減に取り組まれていた。
	24	網戸修繕など軽微な修繕でも2社の見積りにより判断し、経費節減に取り組んだ。		
(3) サービス等の 内容や水準	25	施設管理人は、施設利用の公平な受付と予約・報告書の提出・利用後の確認を行い、管理運営委員会で利用状況・問題点等の報告を行い徹底した。	25	施設管理人は、施設利用の公平な受付と予約・報告書の提出・利用後の確認を行い、管理運営委員会で利用状況・問題点等の報告が行われている。
	28	利用者からの要望意見は管理人から、関係する管理運営委員長等に報告し、必要によりメール等を活用し関係委員で協議、統一見解として内容ごとに回答した。	27	アンケートの代わりに利用者からの意見を管理人が聞き取り、関係者が共有、協議する体制が取れている。
	34	計画する屋内事業への参加が振るわないのは、コロナ禍が大きな制約であり、現状では積極参加を推進しているが、人数が増えるのにも不安があり実情は人数制限し半信半疑の状態と言える。		

## 9 総合評価（指定管理者、施設担当課）

指定管理者	<p>■自己評価</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本年度も、計画した行事を実行できた時も常に不安があり、内心は緊張を強いられた一年であった。</li> <li>・年初計画の施設利用行事は、行政からのコロナレベル指導を受け、臨時の管理運営委員会を設置し施設利用制限を徹底した結果、行事は直前まで検討したが会議での意見集約にて中止等せざる負えず、利用制限期間延長により利用状況は昨年をさらに下回ってしまった。</li> <li>・区民の皆さんは、止むを得ないと理解して遵守し、施設利用を屋外行事に振り向けるなど介護予防への取り組みを実践された。</li> </ul>
	<p>■今後の改善策（短期的に対応可能なもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政指導を加味したコロナ対策（含むワクチン接種）を順守し、行政からのコロナレベル指導を受け臨時の検討会を設置し、特に、施設利用前後に行う備品等のアルコール消毒、利用中の換気など集団感染を出さない行動を施設利用者に徹底する。</li> <li>・また、必要により屋外行事への振り向けなど介護予防行事の中止はできるだけ避ける工夫を推奨していく。</li> </ul>
	<p>■今後の改善策（長期的に取り組むことで課題解決を図るもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナと共存しながらの施設利用方法について、感染症対策をさらに徹底し、少人数で行う「いつもの仲間」の行事は、生活環境に変化が無い場合は交流を制限することなく、知り合い同士の信頼によりお互いがチェックし合いながら、短時間利用を検討していく。</li> </ul>
	<p>施設担当課</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・経費節減に努め、今後必要になる施設修繕のための積立等も計画的に実施されている。</li> <li>・施設の利用の減少の原因は全てコロナの影響によるものであり、その中でも検討会を行い、方策を考え、屋外での事業への切り替えや、屋外での反省会など、工夫して取り組まれており、適正な運営であると評価する。</li> </ul>